

平成25年度 自己評価・学校関係者評価

宮崎県立高鍋農業高等学校

部	今年度の取組	自己 評価	学校 関係者 評価	講 評
学校 全体	1 新しい農業教育への取組（学科改編）	A	A	○新しい農業教育に期待している。 6次産業化やフードビジネスについて、視野の広いバランスのよい人材を育てて欲しい。 ○110周年記念事業で実施した高鍋の教育に関するDVD制作は大変よい取組である。地域を知り、故郷を愛する子どもたちを育てて欲しい。
	2 農業クラブ県連行事の円滑な運営と競技力の向上	B		
	3 学校創立110周年記念行事の成功	A		
	4 思いやりの心を育てる教育の実践	B		
	5 生徒が育つ農場づくり	C		
	6 部活動の活性化	C		
	7 地域から理解され、信頼される学校づくり	A		
	8 安心安全な学校づくり	A		
教務 部	1 特色ある教育課程の編成	B	A	○様々な広報活動により、志願者数が増加したことは大変喜ばしく、期待が持てる。
	2 学校PRの推進	B		
	3 効果的な研修実施による授業力の向上	B		
生徒 指導 部	1 倫理観の醸成と規範意識の確立	B	B	○部活動の数が多く、選択肢が多いことは、生徒にとっては魅力である。指導体制や活動時間の確保などを検討し、活性化を図って欲しい。
	2 日常的な服装容儀指導の取組	B		
	3 部活動の精選と競技力向上	C		
	4 いじめ防止対策の徹底	B		
	5 交通安全モデル校指定事業の取組	A		
進路 指導 部	1 進路実現 就職・進学100%達成	B	B	○大変厳しい就職状況の中、ほぼ進路希望を達成している。進学や就職に関するあらゆる取組や工夫の成果が出ているのではない。
	2 進路対策専門員と連携した積極的な企業開拓	A		
	3 進路ガイダンスの充実と生徒の進路意識の向上	B		
	4 教科連携と個人指導による進学対策	B		
	5 就農希望者及び関連産業従事者の確保	C		
	6 各学年ごとの各種講習等の充実	A		
農務 部	1 就農支援事業の実施と就農率の向上	B	A	○農業に関する学習会や研修会、各種講演や連携事業など、農業や関連産業従事者の担い手を育成する取組を大変よく企画し、実施している。
	2 県立農業大学校と連動した農業の担い手育成	B		
	3 防疫教育の徹底	A		
	4 学科間の横断的な実習の実施	B		
	5 6次産業化に対応した新しい農業教育の取組	B		
寮務 部	1 基礎学力の定着と学習環境づくり	B	B	○寮役員のリーダーシップにより、寮全体が落ち着いているのではない。 ○高鍋農業高校の特徴である寮を生かして、他の学校ではできない取組をして欲しい。
	2 キャリア教育の充実	B		
	3 規律ある寮生活の実施	B		
	4 協調性や責任感などの特性の涵養	B		
	5 基本的生活習慣の確立と礼儀作法の習得	B		
	6 広報等による寮教育への理解促進	C		
	7 定期的な避難訓練等の実施	A		

【自己評価】 A：目標を十分に達成できた B：目標に向けて取り組んだ C：目標を達成できなかった